

# 七校便り

宮城県白石高等学校七ヶ宿校  
No. 32  
平成24年 8月 1日

## 清涼コンサート

7月8日(日)に、PTA主催による奉仕活動(校舎周辺の除草作業と、校舎の窓掃除)が行われましたが、それに先だって、関小体育館でフルートとマリンバによるコンサートを開催しました。槻木在住の演奏家、平間 翔子さん(フルート)と羽賀 智美さん(マリンバ)が、クラシックの名曲や、ジブリのメドレー、ラテンナンバーなどを披露しました。清々しい夏のひとときでした。



## 昔々ある所に

7月17日(火)、『白石民話の会』の畑中 栄子先生をお迎えして、民話を聞く会を催しました。畑中先生は、公立中学校を定年退職された後、民話の語り部として活躍されています。以前、関中学校に勤務されていたこともある方です。この度、縁があり、先生のお話を聞く機会に恵まれました。

白石市福岡に伝わる「垂清川の河童」の話、新しい「かっこ(下駄)」を買ってもらった女の子がカッコーになる話など、楽しく聞かせていただきました。昔話やおとぎ話は知っていても、本格的な民話を聞くことは滅多にありません。貴重な体験でした。



畑中先生と、民話を聞く生徒達

## 大運動会

7月19日(木)、恒例の運動会が行われました。晴天に恵まれ、カラッとした夏空の下、元気いっぱい各種目に取り組みました。

屋内(関小体育館)では、長縄跳びや綱引き、玉入れ、ムカデ競走などが行われ、屋外(グラウンド)では、徒競走やクラス対抗リレーなどが行われました。

今年は2学年が総合優勝を果たしました。



「竹取物語」という競技です。体育館の中央に置かれた、5本の竹を取り合うもので、かなり過激です。



綱引き 懸命に綱を引く3年生です。



麺食いアメ食いリレー 揺れるベビースターを口にくわえるのは、意外に難しいのです。

## 健闘を祈ります

7月20日(金)、1学期の終業式に先立って、全国大会に出場する陸上部と卓球部の壮行式が行われました。今年は卓球部で2名、陸上部で6名の生徒が、8月13日から東京で行われる全国大会に出場します。選手が一人ずつ、試合に向けての決意を表明しました。



卓球部の春日さんと高橋香菜さん



陸上部、左から河村君、日下君、八巻君、山家直人君、高橋里美さん、山家史織さん

### 《余白》副校長

畑中先生の民話を、とても楽しく拝聴しました。中に、有名な『鶴の恩返し』の後日談というものがありました。鶴が居なくなって数年後、また若くて美しい娘が老夫婦の家を訪ねてきます。泊めて貰った御礼に、今度は二日間だけ、決して部屋の中を見ないで欲しいと、娘は言います。老夫婦は、また居なくなってしまうと困ると思い、今度は娘との約束を守りました。そして二日後、部屋を見ると、娘の姿はなく、部屋にあった物まで全部無くなっていました。その有様を見たお婆さんが言います。

「お爺さん。あの娘は、鶴じゃなくて、鷺(サギ)だったんですね。」

私は、このオチを想定していなかったもので、不覚にも爆笑してしまいました。

お芝居や演芸の世界では、笑わせるのは、泣かせるより、はるかに難しいと、よく言われます。コツは、真面目にふざけることです。笑わせる話だと気取られずに、落とし穴に落とししてしまうのです。その点、畑中先生の話芸は見事でした。

笑いは聞き手の質にもよります。上の話の場合、鷺と詐欺のシャレなのですが、そもそも鷺という鳥を知らなければ笑えません。豊かな人生には上質のユーモアが欠かせません。その為の教養を身に付けたいものです。